

南アルプス市低炭素化推進協議会

南アルプス市わくわくエコチャレンジ 中間報告書



2013年3月1日

カルビー株式会社カルネコ事業部

目次

1. 事業の概要	1
1.1 事業の名称	1
1.2 協議会の概要	1
1.3 事業概要	1
1.4 実施体制	3
1.5 実施工程	3
2. 事業報告	5
2.1 協議会開催状況	5
2.2 制度文書	6
2.3 排出量・クレジット等管理システム	6
2.4 広報ツール	7
2.5 事業報告	9
2.6 マスコミからの取材の有無	10
3. 事業の総括	11
4. 今後の展望	14
参考資料	14

1. 事業の概要

1.1 事業の名称

南アルプス市わくわくエコチャレンジ

1.2 協議会の概要

表 1-1 協議会の概要

(1)協議会の名称	南アルプス市低炭素化推進協議会
(2)地方公共団体	山梨県南アルプス市
(3)その他構成機関	三菱UFJリース株式会社、カルビー株式会社カルネコ事業部
(4)設立年月日	平成24年8月8日

1.3 事業概要

【事業の背景】

南アルプス市では温室効果ガスの削減をめざした専門部署である地球温暖化対策室を設置し、以下のような積極的な政策を推進している。

- ・南アルプス市内に最大出力100kwの小水力発電設備を導入し、公共施設において供給を行っている。
 - ・小水力発電所からの電力の自家消費分については「山梨県南アルプス市小水力発電導入による温室効果ガス削減事業～南アルプスの清らかな水からの「J-VER」創出プロジェクト～」としてオフセット・クレジット（J-VER）を発行し市内の活性化のために活用を行っている。
 - ・地域農業からの温室効果ガス削減のため木質バイオマスの導入普及を進めており、木質バイオマスで加温したハウス農産物に上述のJ-VERを付加し「カーボン・オフセット農産物」として販売を行うなど先駆的な取組みを実施している。
 - ・市内の公共施設に出力400kw以上の太陽光発電施設を整備しており、年間270t以上のCO₂削減を行っている。
 - ・今年度は民間の資金を活用して太陽光発電施設の整備を行う官民連携事業も行っている。
 - ・平成22年度より一般家庭からの温室効果ガス削減を推進するため、市民に対する太陽光発電システム導入に対する助成を行っている。節電に対する市民の意識の高まりを受けて平成23年度の実績で322件、約1400kwの導入がされている。
- 温室効果ガスの削減には上記のように自然エネルギーの導入などの「創エネルギー」と併せて「省エネルギー」の推進が必須である。特に対策が遅れている一般家庭における省エネルギーの分野の取組みを推進していくことは南アルプス市をはじめ全国での課題となっている。
- 今回の市場メカニズムを活用したモデル事業を実施することにより、市民が自らのエネルギー使用量を把握し、意識をし、またインセンティブ制度を設けることで省エネルギーを積極的かつ楽しんで取り組みに参加できる仕組みを構築し、家庭からの温室効果ガスの削減を推進していきたい。

【目的】

- ・家庭からの CO2 排出量削減による地域における低炭素化の促進と市民参加型の温暖化対策の取り組みの推進
- ・他地域のモデルとなりうる先進的かつ継続的なスキームの構築

【実施地域の範囲】

南アルプス市内の在住者

【市場メカニズムの活用と温室効果ガス排出削減の方法等】

(概要)

2012 年度	南アルプス市	備考
市民参加者募集数	102 世帯	太陽光発電システム設置補助対象者にも積極的な参加を促す
事業者数	なし	初年度はカルビー株式会社カルネコ事業部が CO2 削減量購入を行うことで資金を担保する。
協賛店数	なし	初年度はカルビー株式会社が製品を出品することで運用を担保する。
実施期間	2012 年 12 月～2013 年 2 月	冬季、夏季のそれぞれ 3 ヶ月間を 3 年間継続する。
削減努力の対象	① 電力 ② ガス	①削減量に応じポイント発行 ②削減量にかかわらず一定ポイント発行
インセンティブ	12 円/kg-CO2	南アルプス市 J-V E R 価格に準拠

(フロー)

1. 市民参加者は本事業への参加を申し込む。
※1 電力については、事務局が東京電力の「でんき家計簿」へ申込、ID・パスワードを取得し、委任状の下で個人情報を管理する。
※2 ガスについては、自身が契約するガス事業者を事務局に連絡する。
※3 電気・ガスともに事業者から事務局へ使用量データを提供してよい旨の同意書（委任状）を提出する。
2. 市民参加者参加者の電気・ガスの使用量を事務局にて Eco Value Interchange (以下、EVI) に登録する。
※1 EVI とは、環境貢献を目的とした WEB プラットフォームのこと。
<https://www.evic.jp/evi/>
3. EVI 上で市民参加者の削減した電気、ガス使用量を CO2 換算し、前年同月をベースとして削減量を算出する。
4. 削減量 1kg に対して 12 円分のポイントを発行し、削減量とともに市民参加者に連絡する。
5. 本制度の趣旨に賛同した協賛店・農家等により、EVI 上に商品や農作物を出品する。
※1 社販価格または卸価格での提供を依頼する。
6. 現在、南アルプス市内で流通している南アルプス商品券（商工会発行）を出品する。
7. 市民参加者は獲得したポイントと商品を交換する。またはサービス券出力や商品券を EVI 上から印刷し、地元の協賛店で使用する。
8. 本制度の趣旨に賛同した事業者は CO2 削減量を購入し、オフセット商品の販売やオフセットイベントを実施する。購入した CO2 削減量は EVI から証明書を発行する。
※カーボン・オフセットについては、事務局でオフセット・プロバイダーの三菱 UF J

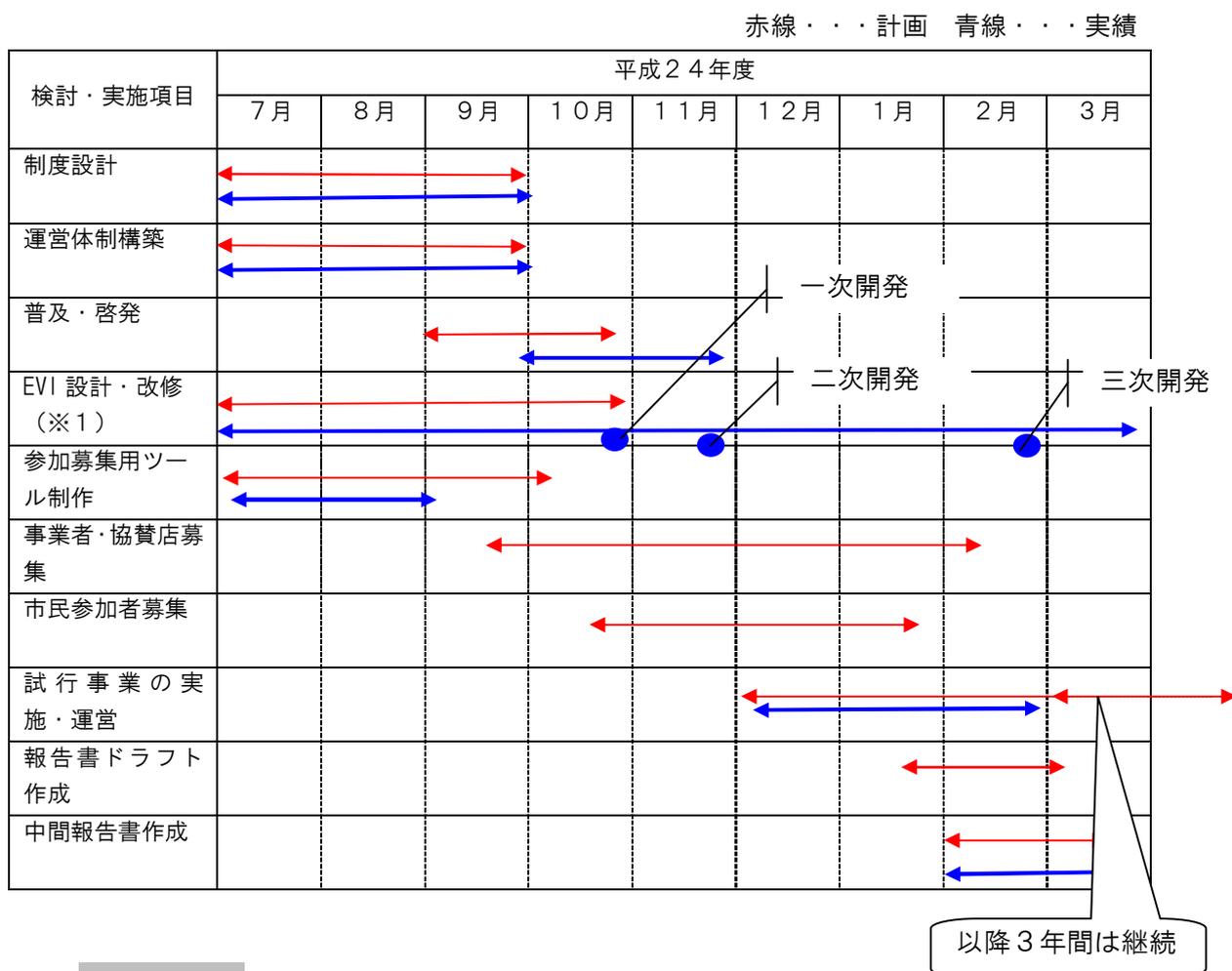
リースが支援を行うことで、信頼性を担保する。

1.4 実施体制

(体制)

南アルプス市	本取り組みの主体であり、地元への普及・啓発や市民参加者、事業者、協賛店などの開拓を行う。
カルビー(株)カルネコ事業部	事務局として、EVIの環境家計簿機能を活用した支援を行う。
三菱UFJリース(株)	事務局として、制度設計や運用体制構築・実施に関する支援を行う。
市民参加者	家庭でのCO2排出量を削減する
事業者	CO2削減量を購入する
協賛店	ポイント交換用の商品・サービスを提供する。

1.5 実施工程



(※1) 本事業のホームページのリリースは3段階とする。

【一次対応】10月15日(募集開始)に必要な機能の開発(HP構築、参加者募集、お問い合わせ等)10月12日リリース。

【二次対応】12月以降(事業開始)に必要な機能の開発(ログイン、CO2削減実績登録、照会、CO2削減実績通知、ランキング等)11月末リリース。

【三次対応】3月以降（事業終了）に必要な機能の開発（ポイント付与、ポイント交換、ポイント失効等）2月末リリース

2. 事業報告

2.1 協議会開催状況

表 2-1 協議会開催状況

回	年月日	参加者数	主要議題
第1回	平成24年8月24日	9名	① 募集要項の策定（三菱UFJリース様） 広報の実施（南アルプス市）③全体スケジュールの確認（南アルプス市、三菱UFJリース様、カルネコ）
第2回	平成24年10月5日	5名	① 運営体制の確認 ② 申込者への対応 ③ 実施期間中 毎月の状況報告について ④ 事業終了時の取り扱い ⑤ 来年度継続実施時の体制 ⑥ ポータルサイト画面設計の確認（南アルプス市、三菱UFJリース様、カルネコ）
第3回	平成24年11月6日	3名	① 参加申込状況の確認 ② 参加者啓発の検討 ③ 参加者からの委任状の受取方法の確認 ④ ポイント運用方法の再検討⑤ポータルサイト二次対応画面設計の確認（南アルプス市、三菱UFJリース様、カルネコ）
第4回	平成25年1月23日	6名	① 参加者の委任状提出状況の確認 ② 12月度削減量実績の確認 ③ ポータルサイト ログイン画面設計の確認 ④ 次年度以降の活動計画のすり合わせ（南アルプス市、三菱UFJリース様、カルネコ）
第5回	平成25年3月7日	6名	① チャレンジ期間削減量実績の確認 ② ポイント交換フローの確認 ③ 次年度以降の活動計画の確認（南アルプス市、三菱UFJリース様、カルネコ）

(ア) 制度文書

表 2-2 制度文書一覧

文書名	内容
低炭素化推進事業実施要綱	この要綱は、市民の省エネ行動の促進を目的として実施する低炭素化推進事業の運営について必要な事項を定め、家庭部門の温室効果ガスの排出削減を推進し、もって地球温暖化対策の促進を図ることを目的とする。

(イ) 排出量・クレジット等管理システム

表 2-3 排出量クレジット等管理システム

システム名	管理する対象	開発事業者	内容
EVI システム	参加世帯個人情報（氏名、住所、電話番号、生年月日、性別、ニックネーム）、電気使用量・排出量・削減量（前年と当年）、ポイント数	カルビー株式会社カルネコ事業部（株式会社日本ウィルテックソリューション）	<ol style="list-style-type: none"> 市民参加者は本事業への参加を申し込む。 ※1 電力については、事務局が東京電力の「でんき家計簿」へ申込、ID・パスワードを取得し、委任状の元で個人情報进行管理する。 ※2 ガスについては、自身が契約するガス事業者を事務局に連絡する。 ※3 電気・ガスともに事業者から事務局へ使用量データを提供してよい旨の同意書（委任状）を提出する。 市民参加者参加者の電気・ガスの使用量を事務局にて Eco Value Interchange(以下、EVI)に登録する。 ※1 EVI とは、環境貢献を目的としたWEB プラットフォームのこと。 https://www.evic.jp/evi/ EVI 上で市民参加者の削減した電気、ガス使用量を CO2 換算し、前年同月をベースとして削減量を算出する。 削減量1kg に対して12円分のポイントを発行し、削減量とともに市民参加者に連絡する。 本制度の趣旨に賛同した協賛店・農家等により、EVI 上に商品や農作物を出品する。 ※1 社販価格または卸価格での提供を依頼する。 現在、南アルプス市内で流通している南アルプス商品券（商工会発行）を出品する。 市民参加者は獲得したポイントと商品を交換する。またはサービス券出力

			<p>や商品券を EVI 上から印刷し、地元の協賛店で使用する。</p> <p>8. 本制度の趣旨に賛同した事業者は CO2 削減量を購入し、オフセット商品の販売やオフセットイベントを実施する。購入した CO2 削減量は EVI から証明書を発行する。</p> <p>※カーボン・オフセットについては、事務局でオフセット・プロバイダーの三菱UFJリースが支援を行うことで、信頼性を担保する。</p>
--	--	--	---

(ウ) 広報ツール

表 2-4 広報ツール一覧

区分	対象	作成部数	配布方法	内容
リーフレット	市民、企業	2,000 部	・役所窓口配布、 南アルプス市主催のイベント（計3回）で配布	わくわくエコチャレンジ事業の周知、参加世帯の募集、参加企業の募集受付
ポスター	市民、企業	100 枚	・役所窓口掲示	わくわくエコチャレンジ事業の周知、参加世帯の募集、参加企業の募集受付
ウェブページ	市民、企業	https://www.evic.jp/minamialps-eco/	・南アルプス市ウェブサイトからリンク ・EVI サイトからのリンク	わくわくエコチャレンジ事業の周知、参加世帯の募集、参加企業の募集受付
南アルプス市広報誌（10月号）	市民、企業		・役所窓口配布 ・新聞広告折込	わくわくエコチャレンジ事業の周知、参加世帯の募集、参加企業の募集受付

(広報活動実績)

■平成24年10月1日

広報南アルプス10月号に掲載

南アルプス市役所ホームページにおいて参加者募集周知

■平成24年10月19日～21日)

エコプロダクツ東北（会場：夢メッセみやぎ）にて本事業概要の展示

■平成24年10月27日

山梨日日新聞社掲載

■平成24年11月3日

「こころあったかまつり」において参加者募集

■平成24年11月7日（佐賀）、21日（久留米）

有明の海と山ネットワーク推進協議会のイベントにおいてカルビー加藤が事例発表

■11月16日（小倉）

九州カーボン・オフセット推進協議会のイベントで、カルビー加藤が事例発表

■平成24年11月30日

EVI 推進協議会のマッチングイベントにおいて南アルプス市樋泉様が事例発表

イベントの告知・参加啓発のため、講演レジュメを販促会議11月号（1日発売）に広告として掲載

■平成24年12月14日

「自然エネルギー・省エネルギー活用インストラクター養成研修」において南アルプス市樋泉様が事例発表

■平成24年12月13日～15日

エコプロダクツ2012（場所：東京ビックサイト）EVI 推進協議会展示ブースにおいて本事業内容を展示

展示ブース内、Co-net 主催ミニセミナー（13日）にてカルビー鈴木が事例発表

■平成25年1月18日

環境省「地球温暖化対策の事業スキーム構築・推進力強化研修」において南アルプス市樋泉様が事例発表

■平成25年1月29日

市町村職員研修「環境創造セミナー」において事例発表

■平成25年2月6日

カーボン・マーケットEXPO EVI 推進協議会ブースにおいて事業内容の展示

カーボン・マーケットEXPO 南アルプス市ブースにおいて事業内容の展示

■平成25年2月18日

国内クレジット支援センターのイベントにてカルビー加藤が事例発表

■平成25年2月26日（富山）27日（金沢）

中部カーボン・オフセット推進ネットワークのイベントにてカルビー加藤が事例発表

■平成25年2月～1年間

一般社団法人環境情報センターが運営する環境情報サイト「EICネット（エコナビ）」に、わくわくエコチャレンジのポータルサイトの基盤である「EVI」の取り組みを掲載

○EIC ネット <http://www.eic.or.jp/>

全体PV：約200万PV/月 利用者：約32万人/月 登録会員2万人

※「EIC ネット」は、企業、地方自治体、環境NGO、学校、家庭など様々なセクターにおける環境活動を支援するため、環境情報を発信するサイトです。

○エコナビ <http://econavi.eic.or.jp/> 全体PV3.5万PV/月 登録会員約1,000人

※「エコナビ」は、EIC ネットがお送りするエコライフ情報専門サイトです。

現在は、「住まい」「暮らし」「食べる」「出かける」「学ぶ」「集まる」の6つのカテゴリー

リーに分類して、さまざまな分野のエコの取り組みについて、その分野のエキスパートがナビゲーターとなって紹介するコーナーとなります。

(エ) 事業報告

(内容)

●募集期間：平成24年10月15日(月)～11月15日(木)

●実施期間：冬期3ヶ月(平成24年12月～平成25年2月)

●特典：前年の同期間に対し削減したCO₂1kgにつき、
1ポイント(12円相当分)のポイントがつきます。

※ポイントは南アルプス市商業協同組合で利用できる商品券等と交換ができます。
(ただし、ポイントの上限は、200ポイントとします。)

●参加条件：南アルプス市在住で、家庭での省エネ行動に積極的に
取り組む意欲をお持ちの方。

※参加に当たり電気の使用量は報告いただく必要はありません。

(申込時に電気使用量の情報開示に関する委任状等の提出が必要となります。)

※詳しくは、実施要綱をご覧ください。

●募集世帯数：市内100世帯(申込み先着順)。

※同一世帯からの参加申込は1名に限ります。

※応募多数の場合、募集期間前に募集を終了することがあります。

●応募方法：インターネット、郵送、持参のいずれか。

※インターネットの場合は申込み専用ページから、

郵送・持参の場合は市役所備え付けの応募用紙に必要事項をご記入の上お申し込みください。

(啓蒙) ※具体的活動は広報活動実績を参照

1. 参加申込方法は、窓口、イベント、WEBの3パターンを用意した。
2. 参加募集媒体は、紙(申込書)と電子(WEB入力)の2パターンを用意した。
3. 参加市民募集期間を延長した。(11月15日締切を、30日まで延長とした)
4. 市のイベントにて参加啓発を行い、直接申込者を募集を行った。

(規模)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 参加者の決定 | 合計102世帯(応募100世帯に対して) |
| ①窓口分 | 59世帯 |
| ②イベント集客分 | 24世帯 |
| ③WEB受付分 | 19世帯 |

(実施内容)

1. 南アルプス市の要望により、削減努力の対象を電気(必須)、ガス(任意)とした。
→南アルプス市がガス会社にヒアリングを実施し、市内のガス業者は16社程あり、また市内の家庭におけるガス供給業者は市内取り扱い業者に限られていない。ガス業者にとって今

回の取組みが自らの利益を少なからず減らすことになるため、特に小規模の事業者にとっては反発が予想される。行政として、ガス事業者に報告を協力させることが難しい

↓

□報告方法：自主報告（ネットで入力 or ファックス・郵送等）

※あくまで希望者のみの参加という形態

□エビデンス報告：ガス会社発行の使用量がわかる書類（領収書 or 請求書）の写しをファックス・郵送または電子媒体（スキャン画像・写真）により報告

□ポイントの付与：チャレンジ1回目のポイントについては、前年度との比較が不可能なため、3ヶ月参加ごとに一定の定量ポイント（10ポイント）を付与し、それ以降比較が可能となる状況からは、削減量に応じたポイント付与とした。

2. 南アルプス市の要望により、ポイント交換対象品にカルネコセレクション（カルビー製品等）を追加した。

→ポイント合計数が端数になった場合でもなんらかの商品が得られるようにする。

3. ポイントの運用について、チャレンジ期間外への繰り越しをなしとした。また、有効期間も、1年間ではなく、チャレンジ期間内で消化してもらう。景品の内容及び必要ポイント数は以下のとおりとした。

景品1：アルプスギフトカード500円分（40P）

景品2：じゃがりこサラダ味（10P）

景品3：南アルプス市の清らかな水からの「J-VER」創出プロジェクト（1P〜クレジット購入）

購入者に対しては、EVI 推進協議会が発行するkg単位の証明書を発行予定

今回の参加者102世帯を、夏季（7月〜9月）への取り組みに継続参加を促す為に、チャレンジ終了後のポイント交換時に参加意思を確認できるアンケートを行う。

(オ) マスコミからの取材の有無

表 2-5 取材実績一覧 （記載例）

媒体	取材を受けた日	取材を受けた者	取材場所	放送日・発刊日
山梨日日新聞社	不明	南アルプス市樋泉様	不明	10月27日

⑤ 事業の総括

表 ⑤-1 事業実施結果

視 点	結 果 ・ 内 容												
(1)モデル事業の成果													
①目標設定と達成度	<p>事業の実績／目標 (参加世帯) 102世帯／100世帯 (実質参加世帯) 90世帯 (不参加者の内訳と原因) 5世帯・・・前年実績なし(12年3月以降に転居) 4世帯・・・委任状未提出 3世帯・・・データ連携中(委任状提出遅延による)</p> <p>(削減量) 2118.7kg(3ヶ月)／20,000kg(年間) (事業者) なし (協賛店) なし (ポイント発行数量) 4150P×12円=49,800円分</p>												
②温室効果ガスの削減効果	<p>チャレンジ期間別CO₂削減量の推移※カッコ内は平均値 (12月) +2.7t-CO₂ (+0.02t-CO₂) (1月) -4.6t-CO₂ (-0.05t-CO₂) (2月) -0.3t-CO₂ (-0.004t-CO₂) (期間合計) -2.2t-CO₂ (-0.02t-CO₂)</p> <p>参加者102世帯における冬季3ヶ月間(12月、1月、2月)の実績において、前年同月比で2118.7kgが削減されました。今後、規模(参加世帯数)を拡大して本事業を継続的(少なくとも、夏季3ヶ月間、冬季3ヶ月間の3カ年は実施)に実施し、削減効果を上げていきたいと考えています。</p>												
③消費電力及び消費電力量の削減効果	<p>チャレンジ期間別の消費電力量の推移(平均値)</p> <table border="1" data-bbox="678 1422 1348 1579"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年</th> <th>当年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(12月)</td> <td>623kWh</td> <td>687kWh</td> </tr> <tr> <td>(1月)</td> <td>965kWh</td> <td>848kWh</td> </tr> <tr> <td>(2月)</td> <td>800kWh</td> <td>765kWh</td> </tr> </tbody> </table> <p>消費電力量を月別に前年と比較すると、12月は+64kWh、1月は-117kWh、2月は-35kWhの削減効果でした。参加者別に見ると、3ヶ月間の前年対比で半分近く消費電力量を削減されている方が複数名いらっしゃいました。参加者に対してアンケートを実施し、本事業に取り組んだ理由、良かった点、悪かった点、節電効果等、引き続き調査を行います。</p>		前年	当年	(12月)	623kWh	687kWh	(1月)	965kWh	848kWh	(2月)	800kWh	765kWh
	前年	当年											
(12月)	623kWh	687kWh											
(1月)	965kWh	848kWh											
(2月)	800kWh	765kWh											
④採択金額に対する費用対効果	<p>低炭素社会に向けた市場メカニズムの構築の点で、今回の事業費を、システムの構築費用と運営費全般にあてて、市民の方々が大きな負担なく、気軽に、わくわくしながら参加できる枠組</p>												

	<p>みを整備いたしました。本事業の取り組みにつきましては、向こう3カ年は継続して行うことを決めました。</p> <p>今後、事業規模を拡大し、より一層の削減効果に寄与できるよう推進していきます。また、事業者及び協賛店についても、広報活動を積極的に行い、本事業を通して市民と企業が有機的に結び合い、地域活性化に繋げていきます。</p>
⑤運営コスト	<p>EVI の環境家計簿機能をカスタマイズすることで、新規システム構築と比べて低コストでの取り組みが可能だった。また、EVI は排出権のマッチング機能として 2011 年 2 月から運用しており、事業継続性が高い。</p>
(2)モデル事業の評価	
①先進性・独自性	<p>南アルプス市で取り組んでいる太陽光発電導入補助事業において、電力の創出量などの報告もできるようにするため、本制度への参加者を確保が容易にできる。</p>
②幅広い対象者の設定	<p>1. 今後に向けて、ポイント交換商品に、被災地の木材や加工した間伐材商品も出品予定であり、被災地支援や未使用木材の利用促進に貢献できる。</p> <p>2. 1 の木材加工は、カルビー・イートク株式会社で障害者による制作も一部予定しており、障害者の雇用促進・安定化にも貢献できる。</p>
③取り組みやすさ	<p>市民参加者、取り組み自治体の事務負担を極力低減し、使用量データは電気・ガス事業者から直接取得するなど事務負担は事務局が一括して請け負うことで、気軽に参加できるスキームである。また、手登録や紙運用にも対応し、その運用もカルビー(株)カルネコ事業部に一括して請け負う(来年以降も継続して業務受託予定)。</p>
④対象者からの評価	<p>今後、任意の参加者に対して事業内容のヒアリングを行う予定。</p>
⑤課題・問題点等	<p>■インセンティブ</p> <p>参加市民の削減努力に応じた対象景品の種類と、協賛団体の確保に工夫が必要。また、チャレンジ終了時におけるアンケート回収の手法についても、参加賞等、なんらかのインセンティブを用意する等、検討が必要である。</p> <p>(一例)</p> <p>獲得ポイントに応じた物との交換 公共施設の利用券(温泉利用券・美術館入場券等) 企業の出資品 参加賞の検討 南アルプス市商品券 カーボン・オフセット商品(さくらんぼ・シンビジューム・年賀状?)</p> <p>原資の確保にも検討が必要。J-V-E-Rを販売しその販売額をインセンティブの原資とするか、サポーター企業を募集し、広告費としての拠出をお願いするか。</p> <p>■削減したCO2削減価値の所在</p> <p>CO2の価値を移転させる手続きや手数料など、検討が必要企業へ販売(協賛企業へ譲渡)した際に、その効力がどの程</p>

	<p>度の主張できるものとなるか 南アルプス市所有のJ-V E Rとの交換</p> <p>■参加者の募集の定義</p> <p>市内企業（TDK・ジット等） →市内在住者だけにするか？市内に勤務している者も参加できるか？</p> <p>市内環境団体（NPO・市民団体等） 市内団体（JA・商工会） 市役所職員 太陽光発電補助金取得者 ※高齢者が多い→パソコン等の取り扱いができない者の取り扱い</p> <p>■システム</p> <p>E V I サイト上で入力できるようなシステム どの程度の改修が必要か？ 入力項目はどうするか？ →エビデンスが示せる「電気」・「ガス」のみにするか？ →参加者が自主的にどのくらい他のエネルギー（灯油・ガソリン・水道等）を削減したかわかるように入力ができるようにしておくか？or 入力した人には参加賞（ポイント）のみにして報告させるか？ 太陽光発電システム導入者（補助金交付者）にも参加してもらおうサイトが作れるか？ →現在太陽光補助金の交付者には発電量等の報告をお願いしている。このシステムで報告ができ、この制度にも参加をしてもらうことができることが望ましい。 →（飛躍して）太陽光発電システム設置者の自家消費電力分を取りまとめて、「グリーン電力証書」として活用できないか？→グリーン電力証書販売→インセンティブポイントの原資にできれば・・・ →（問題点）検定付き電力量計の設置が必要？</p> <p>■運用</p> <p>初年度の運用はE V I 協議会を中心に集計や対応ができる。 2年目以降の運用をどうするか？費用？ NPO法人に委託？→個人情報等の取り扱い パソコンをできない人への対応方法 複数年実施を行う者への対応→とりあえず3年間という区切りをつくり取り組んだらどうか？（途中で打ち切るとポイントが無効になる恐れ）</p>
--	---

⑥ 今後の展望

① 継続可能性

検討・実施項目	平成25年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
最終報告書作成	←————→									
制度見直し	←————→									
運営体制見直し	←————→									
普及・啓発	←————→									
EVI システムの見直し	←————→									
事業者・協賛店追加募集	←————→									
市民参加者追加募集	←————→									
実施・運営	←————→									

冬季（12月～2月）、夏季（7月～9月）の3ヶ月間の取り組みを、3年間は継続する。

② 他事業との連携可能性

EVI をプラットフォームとして活用した低炭素の取り組みは、運用・EVI 機能を含めて他の自治体でカスタマイズなく利用できるスキームとするため、全国の自治体へ低コストで展開可能である。2/6には、九州版炭素マイレージ制度推進協議会と制度内容に関する意見交換会を南アルプス市樋泉様も交えて実施、今後の連携を睨んでいる。

③ 波及可能性

1. ポイントとの交換商品として地元の商品や農作物、南アルプス市商品券（商工会発行）を入れることで、地元産業の活性化に貢献する。
2. 獲得ポイントを寄付できる機能も実装し、EVI 上で山梨県の J-VER 等の購入にあてることで、森林整備の推進に貢献できる。

参考資料

なし